

公益財団法人 おかやま環境ネットワーク

～2020年度事業・決算報告 2021年度事業計画・予算～



大野川 川あそび

～ 目 次 contents ～

2020年度事業報告	P. 1～11
2020年度財務諸表等・監査報告書	P.12～16
2021年度の事業計画・収支予算書	P.17～18
定款	P.19～22

平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
本誌を通じておかやま環境ネットワークについて一層のご理解を賜り、身近に感じていただければ幸いです。
今後も変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。
※活動は皆様のご支援に支えられています。ご入会・ご寄附等のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



公益財団法人 **おかやま環境ネットワーク**

Okayama Environment Network Foundation

～かけがえのない地球、未来のこどもたちへ～

2020年度の事業報告

(2020年04月01日～2021年03月31日)

1. はじめに

- ①上期は、新型コロナウイルス感染拡大の第1波と重なり、多くの事業を中止せざるを得ない事態となりました。
- ②8月以降、下期の事業再開に関わる各種団体等との協議も再開し、10月以降の事業についても、影響は残ってはいますが、計画に沿って準備を進めました。
- ③2021年度の財団設立20周年での記念事業の内容等について検討を進めました。

2. 公益事業1

(1) 助成事業

①助成活動報告会

- 1) 2019年度の助成8団体による報告会を予定しましたが、新型コロナウイルス感染による非常事態宣言が発出された時期と重なったため、報告会は中止しました。

	助成団体名	助成企画名
1	御津の「みどり」と「清流」を守る会	大野川ホテル調査会
2	岡山学芸館高等学校	人工干潟まほろばの里における生物多様性評価
3	旭川源流大学実行委員会	岡山県内河川及び沿岸部底生動物相① 豪雨災害の攪乱から安定相遷移の実状
4	里海づくり研究会議	「里海推進法(仮題)」草案の構築
5	つやま演劇教育研究会	演劇・番組製作を介したクールチョイスおよび 小型家電回収事業の周知・促進
6	あかいわ美土里の和	里山再生プロジェクト
7	おかやまエコマインドネットワーク	食品ロスを減らすためのワークショップ
8	あかいわエコメッセ	第21回あかいわエコメッセ(環境企画展)

②助成部会

- 1) 2020年度は、5団体に58万円の助成を行いました

年度	団体数	金額	年度	団体数	金額	年度	団体数	金額	年度	団体数	金額
1999	5	65	2005	15	147	2011	12	100	2017	8	100
2000	7	100	2006	15	129	2012	6	90	2018	5	54
2001	13	110	2007	12	120	2013	8	102	2019	8	102
2002	13	137	2008	15	150	2014	10	126	2020	5	58
2003	16	150	2009	11	94	2015	11	175			
2004	11	102	2010	10	93	2016	9	95	合計	225	2,399

- 2) 2021年度の助成申請の審査、助成募集要項及び助成活動報告の開催について持ち回り協議を行いました。
- 3) 助成団体が企画する行事等に事務局が参加し、助成金の使用状況等を含め情報収集を図りました。

日程	企画名称など	備考
06/20(土)	美土里の和主催「碧山陰陽石に沈む夏至の夕日とホテルを見る会」	
10/10(土)	美土里の和主催「碧山シナアブラギリの魅力に迫る」	
10/15(木)	エコマインド主催「もったいない!～食品ロスを減らそう～」	助成対象
01/24(日)	美土里の和主催「10周年記念植樹祭(シナアブラギリ)」	後援
02/21(日)	美土里の和主催「里山整備・ホテルの里を守ろう」	

(2) ホタル保護事業

①ホタル団体交流会

- 1) 4回(4月:中止・7月・9月・11月・2月)開催しました。各団体組織の高齢化による活動の衰退や停止が発生してきている中、地域住民を巻き込んだ里山整備の実践事例とヘイケボタルの保護活動を学ぶ機会として「あかいわ美土里の和」と現地交流を実施しました。
- 2) 7月度交流会では、20年夏の県内各地の飛翔情報を持ち寄りました。2018年の大雨の影響を受け減少が確認されたエリアでも飛翔数が増えていることが確認されました。一方、川を覆う樹木等の整備が進まなかった生息地では、日照不足が発生し上陸・飛翔ともに減少していることが確認されました。2月度交流会では、保全地での水温・気温・降水などのデータを採取し、その他の環境複合要因とも照らし合わせながら、保全の進め方を次年度以降検討・調査していくことを確認しました。
- 3) 交流会として、4会場(西大寺山南ホタルの里、奥迫川ホタルロード、北房ほたる公園、御津大野川)でホタル観察会を計画しましたが、新型コロナウイルス感染の影響から、1会場(大野川)だけの開催となりました。

(3) 支援環境の研究・交流

①里海づくり推進部会

- 1) 有識者、事業者、団体、企業、行政等、多様なメンバー参加のもと、昨年度末に新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期判断を行った笠岡エリアでは初の里海シンポジウム(主催)の実施時期や体験プログラムの企画検討、参加メンバーの取り組み交流等をすすめました(5月:中止・7月・9月・11月・1月・3月)。

②アマモ場再生活動支援

- 1) 日生において、6月6日に開催予定とした市民参加型のアマモの種取りは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止としましたが、日生漁業協同組合と備前市が中心となった種取りが6月2日に行われ、秋の種まきのための準備を行いました。9月19日に実施したアマモの種選別と種まきは、継続的な藻場再生につながる機会となりました。
- 2) これまで活動を支援してきた神島寺間見崎里浜づくりの会を中心にしたアマモ場再生の取り組みは、中心を担われてきた方の高齢化とともに後継者が見つからず、残念ながら活動を中止することになりました。

③シンポジウム

- 1) 2019年度に開催延期とした『里海シンポジウムin笠岡～豊かな海の再生・増やそう海の応援団～』を、神島寺間見崎里浜づくりの会の支援による小学校でのアマモ再生教室など現地の取り組み報告、再生活動の先進地から日生中学校の取り組み報告、笠岡市を中心とした市民の取り組み報告、笠岡エリアの漁師の取り組み報告やパネルディスカッションなど、内容を一部変更して実施計画を立てましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、今年度の開催を見送ることとしました。

(4) 広報、事業決算報告、ニュース発行

- ①メールニュースの発行(月2回)とホームページの更新で、情報報告をすすめました。関係団体による発信要望を含め、行事案内をすすめました。
- ②活動紹介パンフレットや事業・決算報告書を様々な機会に配布し、活動紹介とともに新規会員の獲得を図り、10会員(個人10・団体0・企業0)の入会がありました。
- ③今後の事業展開について検討協議に向け実施したアンケートでも、団体間のネットワークづくりに関連した声が寄せられました。情報発信ツールが整備されていない団体が多数ある中で、SNSとしてFacebookを開設し、共有ツールとして紹介を始めました。

(5) 環境家計簿活動事業

①環境家計簿登録モニター

- 1) 2019年のモニター数は、143世帯（前年157世帯）となりました。2018年と2019年の連続2年間分の全データが揃った132世帯の実績集計では、2018年比では1世帯当たりのCO₂排出量は94.6%と減少、2013年比では69.9%と大きく減らすことが出来ています。

②環境家計簿レポート、環境家計簿カレンダー

- 1) モニター実績をまとめ、岡山市と協働で環境家計簿レポート（6月）を発行しました。
- 2) 各家庭でのエネルギー使用の抑制、外出先でのゴミ捨て方やエシカル消費の視点など、環境にやさしい暮らしの実現に役立つ情報を分かり易く提供するツールとして、岡山市と協働で環境家計簿カレンダー（11月）を発行しました。

月	テーマ	月	テーマ
01月	2050年二酸化炭素排出実施ゼロ宣言	07月	日傘デビュー
02月	冬の暖房効果（窓の省エネ）	08月	冷蔵庫
03月	V2H	09月	異常気象への備え
04月	戸別住宅省エネ基準適否説明義務づけ	10月	待機電力
05月	海ごみ	11月	エシカル消費
06月	食品ロス	12月	生物多様性危機
特集	家庭での（外部からの）消費エネルギー実質ゼロを実現する省エネ住宅と太陽光発電等をセットにしたZEHの紹介		

- 3) 環境家計簿委員会では、環境家計簿レポート、環境家計簿カレンダーの原稿作成をすすめました。

(6) 協働事業：他団体や行政などとの関係

①水環境フォーラム

- 1) (社)日本水環境学会中国四国支部岡山地域分科会、岡山理科大学環境教育地域支援研究会が7月に開催した水環境フォーラムは、「感染症と水環境～衛生工学施設としての水道・下水道を改めて考える～」として、北島正章氏（北海道大学大学院工学研究院・助教）「新型コロナウイルスの下水疫学：最新知見と研究展望」、浦瀬太郎氏（東京工科大学応用生物学・教授）「衛生工学施設としての水道・下水道、そしてこれから～水系感染症と水道・下水道成立の歴史、今後の展望」の講演をオンラインで行い、水道・下水道には現在の感染症に対して何ができ、今後どうあるべきなのか考える場となりました。

12月に開催した水環境フォーラムでは、「これからの湖沼水質保全をどう進めるか～湖沼水質保全計画策定上の課題～」として、1 藤尾隆氏（環境省水・大気環境局水環境課・課長補佐）「湖沼水質保全の現状と課題」、狩野好宏氏（鳥根県環境生活部環境政策課宍道湖・中海対策推進室企画幹）「宍道湖、中海に係る湖沼水質保全計画策定時の課題と検討事項」、佐藤祐一氏（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター・専門研究員）「琵琶湖の水質保全の新たな方向性～流入負荷の削減から物質循環の円滑化へ～」、杉田光氏（岡山県環境文化部環境管理課・総括副参事）「児島湖に係る第8期湖沼水質保全計画策定に向けた課題」の講演をオンラインで行い、これまでの長年の対策によってある程度の水質改善は進んだものの予想されたほどの効果がでていないケースへの今後の対策について、代表的な湖沼を例に考える場となりました。

②備前市立日生西小学校「アマモ播種ポット作成教室」

- 1) 地域と世代をつなぐ里海づくりの一環として、毎年備前市立日生西小学校で実施している作成教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として、今年は、日生西小学校と日生中学校をオンラインで結び、田中丈裕氏（NPO法人里海づくり研究会議理事）によるアマモの役割説明の後、それぞれの教室でアマモの種で播種ポットを作成しました。児童はポットでの発芽と成長過程を観察した後、1月26日に潜水作業により定植を行いました。

③行政等との関係

- 1) 「岡山ESD推進協議会」の運営委員会に委員参加し、役割を発揮しました。「備前市里海・里山ブランド推進協議会with ICM」の専門委員会及び環境戦略部会では、新型コロナウイルス後の事業展開について協議が進められました。

組織名	委員会等	開催（下期開催時期は未定）
ESD協議会	運営委員会	6/23、10/1、3/25
備前市	専門部会	11/27
	観光戦略部会	11/13
旭川かいぼり	実行委員会	7/1、8/4、9/16、10/19、11/26

- 2) 岡山市との協働による「環境家計簿レポート」「環境家計簿カレンダー」を発行しました。引き続き、岡山市以外の市町との協働発行について実現の可能性を探ります。
- 3) 市民のための環境講座等では、大野川いい川づくり、岡山野生生物調査会、岡山淡水魚研究会、NPO法人里海づくり研究会議、みずしま財団、(株)岡山村田製作所、旭川かいぼり調査実行委員会、生活協同組合おかやまコープ美作・備北エリア等と共催による事業をすすめました。

(7) コープフェスタ

①ネットワークでのブース展示

- 1) 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、今年度のフェスタが中止となりました。

3. 公益事業2

(1) 市民のための環境講座

①企画状況

- 1) 環境問題を正しく理解し、意識啓発や行動を促すことを目的に、実施計画を立てましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で多くの企画は開催見送りとなりました。

日程	企画名称など
04/29 (水)	大野川「筍掘り&竹林の管理と竹あそび」⇒中止
05/09 (土)	大野川「里山歩き&探鳥調査」⇒中止
05/31 (日)	灘崎町「なださき奥迫川ホタル観察会」⇒中止
06/06 (土)	西大寺一宮「山南ホタル観察会」⇒中止
06/13 (土)	大野川「ホタル調査会」
06/14 (日)	北房町「北房ホタル観察会(日生・赤磐出発)」(バス)⇒中止
07/04 (土)	座学「ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)学習会」⇒中止
08/01 (土)	大浜海岸「ウミホタル観察会」⇒中止
10/17 (土)	大野川「いきもの調査会」⇒中止
10/27 (火)	座学「瀬戸内海の家ごみについて知ろう(美作)」
11/01 (日)	「旭川かいぼり調査(かいぼり調査実行委員会)」
11/18 (水)	座学「プラスチックごみ(備北)」

②概要

- 1) 大野川で開催したホタル調査会では、大野川の自然環境を身近に感じ、自然を保護することの大切さを学ぶ機会として実施し、前日の大雨による川の増水などにもかかわらず、昨年より多くのゲンジボタル(約270/200)を観察することが出来ました。ただ、現地の川太氏からは、上流部の産廃施設建設作業に伴う土砂の流入によって、いつも以上に水が濁っているとのコメントが寄せられた。
- 2) みずしま財団の塩飽氏を講師に、2会場で瀬戸内海の家ごみについて学びました。瀬戸内海にはレジ袋、瓶、缶、ペットボトル、たばこの吸い殻など、日常生活から発生したごみがたくさんあること、山や町で出たごみが川の流れて海に運ばれ海ごみになること、

プラスチックごみは小さくなくても生分解することなく残り続けること、海ごみを減らすには用水路や水門・河川敷など海に流れ込む前に回収すること、道端のごみを日常的に拾う（ポイ捨てをしない）こと、ごみを出さないライフスタイルを意識する（大量消費・使い捨てを止める、4Rの実践）ことなどを学ぶ機会となりました。

（２）体験プログラム

①企画状況

- 1) 次代を担う子どもの参加する取り組みを大切に考え、自然にふれ親しみ、自然との共生、自然の大切さ、いのちのつながりなどを伝え、自然環境や普段の暮らしを考えるきっかけをつくることを目的に実施計画を立てましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で多くの企画は開催見送りとなりました。

日程	企画名称など（カッコ内はおかやまコープとの共催企画など）
04/19（日）	八塔寺「ふるさと祭り野鳥観察会」⇒中止
04/25（土）	村田製作所「ビオトープ子ども企画①」⇒中止
05/23（土）	「志々島大クス&燧灘天然干潟体験」（バス）⇒中止
06/06（土）	日生「アマモ種取り体験&アマモ場いきもの観察会」⇒中止
06/06（土）	日生「アマモ種取り体験&アマモ場いきもの観察会（備北）」（バス）⇒中止
06/12（金）	「西日本衛材工場見学（美作）」（バス）⇒中止
08/01（土）	村田製作所「ビオトープ子ども企画②」⇒中止
08/21（金）	「西日本衛材工場見学（備北）」（バス）⇒中止
08/22（土）	大野川「川あそび&トンボ観察」
08/29（日）	津黒高原「子ども企画」（バス）⇒中止
09/19（土）	日生「アマモ種選別・種まき」
09/19（土）	日生「アマモ種選別・種まき（備北）」（バス）⇒中止
10/07（水）	備前市立日生西小学校「アマモ播種ポット作成教室」
10/28（木）	岡山学芸館高校「アマモ播種ポット作成教室」
11/14（土）	村田製作所「ビオトープ・子ども企画③」
12/06（日）	「米子水鳥公園見学」（バス）
12/20（日）	「出雲トキ分散飼育センター見学」（バス）
01/30（土）	村田製作所「ビオトープ・子ども企画④」

②概要

- 1) 岡山学芸館高校医進コース1年生を対象とした里海学習の一環として、田中氏（里海づくり研究会）を講師に開催している「アマモ場再生授業」では、アマモの生態や再生活動の経過について説明を受けた後、一人一人アマモ播種ポットを作成しました。作成後、田中氏より海の酸性化とそれに伴う海の生態系への影響に関する最新情報が提供され、ブルーカーボンの理解をさらに深める機会となりました。
- 2) 村田製作所のビオトープでは、岡山県自然保護推進員の山田氏、橋本氏を講師に、樹形、葉っぱの形や付き方、落葉する樹と常緑の樹の違いなどの特徴を学んだあと、実際にビオトープ内を歩きながら、実のなる樹、葉っぱに特徴ある樹などを調べ、実や葉っぱを採集しました。途中子ども達が見つけた実や昆虫についても分かりやすく解説を受けながら、たくさん新しい発見をする機会となりました。
- 3) 県内にはないラムサール条約登録湿地である中海東端にある米子水鳥公園で、鳥の観察経験の少ない子ども達に多くの渡り鳥の観察体験によって野鳥に興味をもってもらうとともに、自然との共生を考えるバス企画を実施しました。子ども達は、ビデオでラムサール条約や近隣の子ども達も湖沼を守るための活動を継続していることを学んだり、はく製を見ながら鳥の特徴（嘴・翼の形など）や大きさを実感した後、一面ガラス張りの観察室では双眼鏡やスコープで渡り鳥を観察しながらビンゴゲームを通じて鳥の特徴（カモの色、羽、模様など）を学びました。

4. 事業共通

(1) 今後の公益事業取り組みへの情報収集

①次年度以降の環境講座等の企画に関する情報収集を図ること、県内で環境に関わる企画を主催している団体等との交流を図ること、2021年度に控える財団設立20周年記念行事への継続的な情報収集を図ることを目的に、各種行事等への事務局参加をすすめました。

日程	企画名称など	会場など
05/31 (日)	「地域新エネルギー導入推進研修会」①	オンライン 岡山県
05/31 (日)	ホタル観察 (ゲンジボタル・ヘイケボタル)	灘崎奥迫川
06/01 (月)	ホタル観察 (ゲンジボタル)	湯郷、河合
06/02 (火)	日生アマモ種取り	日生町漁業協同組合
06/03 (水)	ホタル観察 (ゲンジボタル)	郷の原
06/05 (金)	ホタル観察 (ゲンジボタル)	由加蛭遊の里
06/06 (土)	ホタル観察 (ゲンジボタル・ヘイケボタル)	岡山市東区・西大寺一宮公園
06/07 (日)	ホタル観察 (ゲンジボタル)	玉島地区
06/08 (月)	ホタル観察 (ゲンジボタル)	備前市内
06/10 (水)	ホタル観察 (ゲンジボタル)	北房、大山川
06/11 (木)	ホタル観察 (ゲンジボタル)	福地
06/16 (火)	ホタル観察 (ゲンジボタル)	宇内、真備
06/20 (土)	「碧山陰陽石に沈む夏至の夕日とホタルを見る会」	あかいわ美土里の和
06/20 (土)	ホタル観察 (ヒメボタル)	竜の口
06/21 (日)	「社会人大学生物学部『植物学科』」② (波田善夫氏)	岡山県自然保護センター
06/28 (日)	岡山県自然保護センター講座	岡山県自然保護センター
06/29 (月)	ホタル観察 (ゲンジボタル)	津黒いきものふれあいの里
06/30 (火)	ホタル観察 (ヒメボタル)	由加蛭遊の里
07/12 (日)	ホタル観察 (ヒメボタル)	備前市内
07/14 (火)	ホタル観察 (ヒメボタル・オバボタル)	備前市内
07/19 (日)	「社会人大学生物学部『植物学科』」③ (波田善夫氏)	岡山県自然保護センター
08/01 (土)	「岡山市環境ワークショップ」	岡山市役所
08/03 (月)	村田製作所ビオトープ調査	岡山村田製作所
08/11 (火)	脱炭素社会のビジョンを考える② 「脱炭素シナリオで早急な石炭火力発電全廃への道を探る」	オンライン 気候ネットワーク
08/22 (土)	育成①「気候危機・コロナ危機と社会の大転換」 江守正多氏 (国立環境研究所地球環境センター)	オンライン おかやまエネ ルギーの未来を考える会
08/23 (日)	「身近な自然・里山とどうやって付き合うか？」	岡山県自然保護センター
08/30 (日)	「社会人大学生物学部『植物学科』」④ (波田善夫氏)	岡山県自然保護センター
09/04 (金)	「地域新エネルギー導入推進研修会」②	鳥取県北栄町
09/12 (土)	笠岡市海ごみ回収事業	笠岡市漁業協同組合
09/22 (火)	「秋のタカの渡り観察会」岡山県自然保護センター	佐伯町大芦高原
09/26 (土)	野鳥調査 (ハチクマ)	岡山市北区御津
09/27 (日)	「社会人大学生物学部『植物学科』」⑤ (波田善夫氏)	岡山県自然保護センター
10/03 (土)	笠岡市アマモ種まき	笠岡市漁業協同組合
10/03 (土)	「岡山県の絶滅危惧生物について学ぼう」①植物編	岡山県自然保護センター
10/04 (日)	岡山県自然保護センター講座 ボラ研修	岡山県自然保護センター
10/10 (土)	「碧山シナアブラガリの魅力に迫る」	あかいわ美土里の和
10/11 (日)	育成②「岡山県が 1.5℃を目指すためのロードマップ」 歌川学氏 (国立研究開発法人産業技術総合研究所)	オンライン おかやまエネ ルギーの未来を考える会
10/15 (木)	「もったいない～食品ロスを減らそう～」	備前市市民センター おかや まエコマインドネットワーク

10/18 (日)	トンボ観察 (大野川)	御津大野川
10/19 (月)	「石炭火力発電の何が問題なの?~大気汚染と気候変動から~」 ①「石炭火力発電から何が出てくる?」	オンライン CASA
10/24 (土)	気候危機セミナー①「気候危機の現状 (世界)」 徳永哲也氏 (ペシャワール会理事)	オンライン CASA
10/25 (日)	「岡山県の絶滅危惧生物について学ぼう」④哺乳類編	岡山県自然保護センター
10/26 (月)	「石炭火力発電の何が問題なの?~大気汚染と気候変動から~」 ②「石炭火力は『安い』?そして本当に減るの?」	オンライン CASA
10/30 (金)	岡山県「食品ロス削減シンポジウム」	岡山国際交流センター
10/31 (土)	「岡山県の絶滅危惧生物について学ぼう」⑤クモ類編	岡山県自然保護センター
11/01 (土)	育成③「里山でのソーラーシェアリングのススメ」 重家雅文氏 (わくわくソーラーファーム代表)	オンライン おかやまエネ ギーの未来を考える会
11/07 (土)	気候危機セミナー②「温暖化が与える影響 (国内)」 高井雄一郎 (大阪府立環境農林水産総合研究所)	オンライン CASA
11/08 (日)	「社会人大学生生物学部『植物学科』」⑥ (波田善夫氏)	岡山県自然保護センター
11/21 (土)	気候危機セミナー③「ティッピングポイント」 江守正多氏 (国立環境研究所・地球環境研究センター)	オンライン CASA
11/22 (日)	「岡山県の絶滅危惧生物について学ぼう」⑥貝類編	岡山県自然保護センター
11/24 (火)	環境省「津山実証実験報告会」 市内河川でのプラスチックごみの流出実証実験 2019 年	津山市総合福祉会館
11/28 (土)	育成④「エネルギーから考えるこれからの暮らし」 竹内昌義氏 (建築家・東北芸術工科大学)	オンライン CASA
12/05 (土)	「岡山県の絶滅危惧生物について学ぼう」⑦鳥類編	岡山県自然保護センター
12/12 (土)	海ごみ回収	瀬戸内市邑久町扇海岸
12/18 (金)	「トランプからバイデンへ: 米国の気候変動政治・政策・市民運動の最前線」	オンライン CASA
12/19 (土)	富山公民館「とみやま未来塾~気候変動の地元学」	岡山市富山公民館
01/16 (土)	地域からの発信 高校生と生物多様性をつなぐプロジェクト	オンライン 高梁川流域地域 づくり連携推進事業
01/27 (水)	第16回ちきゅうCafé「気候変動が後戻り出来ない段階に?! ~ティッピングポイントについて考える~」	オンライン CASA
01/31 (日)	「社会人大学生生物学部『植物学科』」⑦ (波田善夫氏)	岡山県自然保護センター
02/02 (火)	「地域分散型エネルギーと電力システム改革」③ 「2021 年電力市場高騰は何故発生したか?」	オンライン 大島堅一氏研究会
02/04 (木)	市民のエネルギー気候会議 「エネルギー基本計画自主的意見聴取会」	オンライン あと4年未来を 守れるのは今 (CASA紹介)
02/09 (火)	省エネ・省資源の未来シンポ いっしょに考える 「福島、その先の環境へ。」	オンライン 環境省
02/10 (水)	おかやま環境フォーラム 2021 「現代の箱舟が世界を救う?!ビールだけじゃないオオムギの可能性」	岡山国際交流センター (公財)岡山県環境保全事業団
02/17 (水)	公開シンポ 人類非常事態 「新型コロナ・気候非常事態に回答!脱炭素社会に向けて」	オンライン 日本建築学会
03/02 (火)	第7回次期生物多様性国家戦略研究会 「ポスト2020生物多様性枠組の策定に向けた国際的な検討を踏ま えた、自然共生社会の実現に向けた方策と基盤整備 (案)」	オンライン 環境省
03/03 (水)	シンポ「地域循環共生圏形成における廃棄物エネルギー 利用施設の果たす役割と可能性」	オンライン 廃棄物資源循環学会
03/04 (木)	電力システム改革はどこまで? 電力業界の再編の展望	オンライン CASA
03/06 (土)	シンポ「生物多様性とライフスタイル ~新しい日常に向けてわたしたちができること~」	オンライン 環境省
03/10 (水)	国連生物多様性の10年日本委員会10周年振り返りフォーラム	オンライン 環境省
03/11 (木)	第2回CCUS・水素に関する国際シンポジウム	オンライン
03/12 (金)	「脱炭素技術による2050年カーボンニュートラルの実現に向けて」	環境省

03/17 (水)	脱炭素都市国際フォーラム (1日目・2日目)	オンライン 環境省
03/18 (木)		
03/20 (土)	SDGs 未来構想シンポ 「食と農から未来を考えるSDGsアクション」	オンライン 環境事業協会
03/24 (水)	シンポ「炭素ゼロ時代の地域分散型エネルギーシステム ～カーボンニュートラルに向けて～」	オンライン CASA
03/27 (土)	シンポ「地産地消で守る生物多様性」	オンライン 環境省
03/28 (日)	蒜山高原山焼き補助ボランティア体験	真庭市蒜山
03/29 (月)	プラスチックごみを考える学習会 「第4回プラごみをどう減らす？」	オンライン CASA

- ②会員登録いただいている個人会員及び団体会員のみなさまと同様、企業会員のみなさまにも財団としてどんな情報提供が求められているのか、どんな情報提供が可能なのかを研究し、みなさまから必要とされる財団となれるよう引き続き情報収集をすすめます。

5. 法人管理部門

(1) 理事会、評議員委員会

- ①5月理事会、6月定例評議員会は、持ち回りによる開催としました。
②20周年記念事業の具体化及び2030年に向けた財団のあり方を、理事会プロジェクトで継続的に検討・協議をすすめました。

(2) 申請

- ①年度計画等の変更届を提出しました。
②2020年度の公益財団法人事業報告を提出しました。

(3) 会員管理

①会員数 (2021年03月31日現在：納付済)

会員数	個人	団体	企業等	計
2020年3月	97 + 5	37 + 3	33	175
2021年3月	83 + 5	33 + 3	30	154

②2020年度入会・退会状況

	個人	団体	企業等	計
入会	10	0	0	10
退会	0	0	0	0

(4) 財政

- ①収支は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、計画通りの事業展開が出来なかったこと等により、会員会費が減少しました。
②収支は、計画した事業の多くが中止となる中、コロナ禍でも事業実施が進められるよう、オンラインに対応した備品の購入などを進め、収支相償を目指しました。
③2021年度に財団設立20周年を迎えるにあたり、最終年度の「20周年記念事業準備資金」を特定費用準備金として積み立てを行いました。

以上

公益財団法人おかやま環境ネットワーク役員・評議員

2020年度(令和2年度)

理事 [任期] 2020(令和2)年評議員会終結の時～2022(令和4)年評議員会終結の時

	氏 名	略 歴 等
1	秋 山 秀 行	(株) 大町代表取締役社長
2	井 勝 久 喜	吉備国際大学教授
3	沖 陽 子	岡山県立大学学長
4	高 坂 知 典	生活協同組合おかやまコープ職員
5	斉 藤 達 昭	岡山理科大学理学部准教授
6	嶋 一 徹	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
7	清 水 善 朗	弁護士
8	上 甲 啓 一	生活協同組合おかやまコープ執行役員
9	田 中 丈 裕	特定非営利活動法人里海づくり研究会議理事・事務局長
10	野 上 祐 作	岡山理科大学名誉教授
11	花 口 光	岡山の自然を守る会事務局長・会長
12	三 村 康	サンコー印刷(株) 代表取締役
13	山 口 一 裕	岡山理科大学教育開発センター次長
14	山 田 哲 弘	公益財団法人岡山県環境保全事業団環境学習センター「アスエコ」所長
15	吉 鷹 一 郎	岡山野生生物調査会事務局

以上、理事 15 名 (50 音順)

代表理事：野上 祐作、業務執行理事：上甲 啓一、高坂 知典

評議員 [任期] 2017(平成29)年評議員会終結の時～2021(令和3)年評議員会終結の時

	氏 名	略 歴 等
1	阿 部 孝 司	岡山大学生生活協同組合専務理事
2	伊 藤 國 彦	岡山県立大学名誉教授
3	河 本 志津恵	岡山医療生活協同組合常任理事
4	北 川 文 夫	岡山理科大学教授
5	小 橋 賢 之	(株) 建美装社代表取締役
6	田 中 照 周	生活協同組合おかやまコープ専務理事
7	日 野 進一郎	グローカルネット吉備代表 / 日野環境デザイン研究所代表
8	檜 山 伸 吾	児島湖流域エコウェブ理事
9	平 田 まき子	加計学園水質管理室
10	福 留 正 治	岡山環境カウンセラー協会顧問
11	藤 田 賢 治	(株) フジタ地質代表取締役
12	宮 本 紀子	生活協同組合おかやまコープ有識者理事

以上、評議員 12 名 (50 音順)

監事 [任期] 2020(令和2)年評議員会終結の時～2022(令和4)年評議員会終結の時

	氏 名	略 歴 等
1	岡 本 秀 雄	生活協同組合おかやまコープ常勤監事
2	横 山 順 二	岡山手延素麺株式会社代表取締役

以上、監事 2 名 (50 音順)

顧問 [任期：理事会において定める]

2018(平成30)年5月12日理事会終結の時～2024(令和6)年5月理事会終結の時

	氏 名	略 歴 等
1	青 山 勳	岡山大学名誉教授
2	河 原 長 美	岡山大学名誉教授
2	千 葉 喬 三	学校法人中国学園大学・中国短期大学学長

以上、顧問 3 名 (50 音順)